

生涯にわたって
社会のいたるところで学ぶための方法序説

生涯学習を实践し、学び続ける、 ちえりあ学習ボランティア

三浦 良太

提案…ボランティア活動と講座づくりにおいて良い関係性を築くために大切なことをいっしょに考えていきましょう。

1. 生涯学習とボランティア

(1) 札幌市生涯学習センターとは

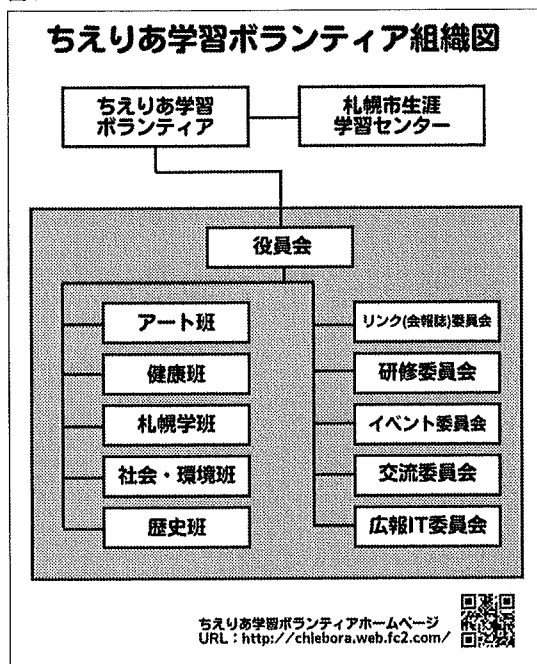
札幌市生涯学習センターは、市民の生涯学習活動を支援することを目的に、2000年8月に開館しました。さまざまな学習ニーズに応える市民向け講座「さっぽろ市民カレッジ」や学習相談、図書の貸出、貸室事業などを行っています。「さっぽろ市民カレッジ」には、3つの学習分野があり、まちづくりやボランティアを学ぶ市民活動系、職業能力の向上や産業振興に関する産業・ビジネス系、趣味や一般教養など生涯学習の入口となる文化・教養系の年間約200講座を実施しています。

(2) ちえりあ学習ボランティア

今回は、この「さっぽろ市民

カレッジ」の企画や運営を行うボランティア団体「ちえりあ学習ボランティア」(愛称…ちえボラ)を紹介します。2001年に設立されたこの団体は、市民の生涯学習を支援し、生涯学習活動の輪を広げることを目的にセンターと協働しながら、年間15の講座づくりをしています。現在、ちえボラは20代から80代まで(平均69歳)のメンバー53名で活動しています。学習テーマごとに5つの「班」(アート、健康、札幌学、社会・環境、歴史)に分かれ、講座の企画はもちろんな、講師の選定・依頼、広報、運営などについてちえボラボランティアが担っています。センター事務局は、バック

図1



アップとして講座企画のサポートや運営費の支出などを行うのみで、市民が主体となってさまざまな講座を企画、運営している全国的に見ても、めずらしい活動です。また、スキルアップや新人研修を自らが企画、運営する「研修委員会」や独自にホームページを立ち上げ、活動情報を発信し、ファイル共有プラットフォームの導入も進める「広報IT委員会」などの委員会を設置しています。(図1)

2. ちえボラの活動

(1) 市民目線の講座づくり

図2は、2023年度にちえボラが企画した講座の一覧です。現代的課題やトレンドを意識した内容など市民目線でバラエティー豊かな講座を企画していま

す。例えば、80名の受講者が集まった「ジャズの誕生」その歴史を旅して」講座は、ジャズの歴史を学ぶだけにとどまらず、プロの実演を入れ、その演奏を肌で感じてもらうことで満足度の高い講座となりました。また、

定員は基本30名ですが、定員を超える申し込みがあった場合は、会場の広さや内容を考慮した上で、できるだけ多くの方に受講してもらえよう定員を増やし、て開講することもあります。

(2) メンバー同士の学び合い

ちえボラは、ボランティア活動を行う上で「自発性」と「先駆性」を大切にしています。

新型コロナウイルス感染症の影響で集まることできなかったときにも「活動はやめずじめることからはじめよう」というメンバーの声が集まり、新しくウェブ会議システムの導入に向けて自主的な話し合いが行われました。パソコンに堪能ではない方も多く、その普及は困難だという意見もありましたが、事

3. ちえボラへの支援と関わり

ここからは、ちえボラと事務局の関わりや事務局の支援について紹介します。ちえボラの「やりたいこと」は、時には「できない」こともあります。講座企画の際に、市外の講師に講義を依頼しようという企画案がありましたが、遠方からの交通費の支出が難しく、講師を招いて対面で行う講義は「できない」とお伝えしたことがありました。しかし、「できない」で終わらせるのではなく、「どうしたらでき

令和5年度ちえりあ学習ボランティア企画講座

春・夏期（4月～8月）		定員	申込者数	受講者数
アート班	三浦綾子の世界へ	30	56	50
健康班	元気・生き生き・健康体操	30	21	19
札幌学班	札幌の成り立ちをもっと知ろう！	30	51	50
社会・環境班	地球温暖化を本気でストップ！！	30	27	24
歴史班	南部の侍・佐藤昌介と新渡戸稲造	30	38	35
合計		150	193	178

秋期（9月～12月）		定員	申込者数	受講者数
アート班	和の食卓文化の魅力	30	16	16
健康班	からだのしくみを知って健康管理	30	44	40
札幌学班	北の植物たちの魅力とその力	30	42	30
社会・環境班	もっと知ろう、太平洋戦争	30	19	17
歴史班	ジャズの誕生とその歴史を旅して	50	87	80
合計		170	208	183

冬期（1月～3月）		定員	申込者数	受講者数
アート班	歌でつづる日本の四季	30	33	30
健康班	やっぱりいいね、北海道の温泉！	30	54	47
札幌学班	微生物は私たちの未来を変える	30	45	40
社会・環境班	日本の裁判を学ぶ	30	29	27
歴史班	「源氏物語」で描いた平安時代	30	54	50
合計		150	215	194

総計		470	616	555
----	--	-----	-----	-----

※2時間×4回講座（受講料3,600円）

図2

るか」という話し合いを進め、結果としてウェブ会議システムを使って実施してみようとの結論になりました。このように「やりたい」に対して「できない」とだけ回答するのではなく、「やれるようになるための答え」を一緒に考えていくことが大切であると考えます。

また、良い関係性を築くために大切なことの一つとして、私は「雑談」を大事にしています。私には現在4歳の子どもがおり、そのことをきっかけに子育ての話やいろいろと教えていただく機会がありました。ちえボラの活動とは関係のない、いわゆる「雑談」ではありますが、これを機会として話しやすい雰囲気や生まれ、活発な意見交換が行われるようになりました。このように小さな雑談を積み重ねることで、ちえボラと事務局のすき間が埋まり、例えば新しいイベントを準備している段階で、誰が手がけるのか決まっていなようなことがあった場合、これ

に気付いた人がそのことをきちんと発信し、皆と共有し、さらにどうしていくかを決めていく、いわば一致団結して進めていくというケースも見られるようになっていきます。

日々の仕事に追われる中で、つい後回しになってしまいう雑談ですが、良い関係性を築くことへつながるとともに、私自身の大きな学びにもなっています。ちえボラの平均年齢は69歳と私にとっては人生の先輩となる方々がほとんどです。年齢が離れていても雑談を通してコミュニケーションをとることで、お互いの思いを伝えやすくなりました。そしてそれは、講座の企画や運営などにも着実に生かされています。

4. これからのちえボラ

ちえボラは、年齢や経験などの異なるさまざまな思いを持ったメンバーが活動しています。一人一人、得意なことややりたいことは違いますが、生涯学習

をおもしろいと思う気持ちと同じだからこそ、生涯学習のさらなる発展のための新しいアイデアが生まれてきています。その思いが、市民目線で「今みんなが学びたいものは何なのか」を追求し、より良い講座づくりを目指すための原動力になっています。

ちえボラ代表の福光健治氏が、ミーティングの際によくおっしゃっている言葉があります。「我々が生涯学習に向き合うときに心がけていることは、何歳になっても常に新たなことを学んでいこうとする気持ちを持つことである」。これこそが、生涯学習の本質を表していると強く感じます。ちえボラがこれからのような講座を企画していき、今後どのように生涯学習が札幌市に広がっていくのかとても楽しみにしています。

札幌市生涯学習センター（ちえりあ）事業課事業係
三浦 良太

社会教育の再設計：シーズン4 新書判

～未来への羅針盤をつくる知の冒険～

社会教育をまなびほぐす

吉田博彦・山崎亮・牧野篤

発行 日本青年館 2023年12月発行 新書判 80頁 編著「学びのクリエイターになる！」実行委員会
定価660円（本体600円＋税）送料140円 ISBN978-4-7937-0144-3